社会福祉部プログラム参加者の行動規範

リトル東京サービスセンター (LTSC) のプログラムとして、社会福祉部は適用されるすべての法律および規制を遵守するとともに、LTSC を代表して常に、あらゆるやり取りにおいて私たちの使命と公約を推進するよう努めます。私たちは、社会福祉プログラムのすべての参加者が組織のプログラムに適合した行動をとり、違法、不正、非倫理的な行為を慎むことを期待します。

社会福祉プログラムのすべての参加者に、次の行動規範を読んでよく理解してもらいたいと考えています。参加者がこれらのガイドラインを遵守することで、すべての人にとって安全で前向きで楽しい体験を保証できます。当センターのプログラムへの自発的な参加は、これらの行動基準と期待に従うことに同意することになります。

期待される行為：
参加者に期待される行為の例としては以下のようなものが上げられますが、これらに限定されるものではありません：

1. すべてのスタッフ、ボランティア、インターン、インストラクター、他の参加者にとって安全で健康的な環境を促進、サポートします。
2. 人々を歓迎し、包括するような言葉を使用します。
3. 積極的な聞き手となり、適切にコミュニケーションを図ります。
4. プログラムに関連する規則を知り、理解し、それらに従います。
5. 誰もが妨げられることなく自分の可能性を発揮できる環境を作り出すことで、コミュニ ティにとって最善であることに焦点を当てます。
6. プログラムの運営に協力します。そして、
7. 他者やプログラム活動に対する敬意と礼儀正しい行動、および善意を引き出す態度を実践します。

容認できない行為：
参加者による容認できない行為の例には次のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません：

1. 冒涜、脅迫、軽蔑的な言葉、暴力行為、またはその他の不適切な行為や言葉の使用 （例：侮辱や軽蔑、欺瞞、悪意のある噂話やゴシップ、暴言や攻撃的な口頭または書面 によるコメント、歓迎されない冗談、差別的行為、性的、暴力的、攻撃的な画像やジェ スチャー）。
2. 誰かに自分の安全を脅かす行為（例：嫌がらせ、ストーカー行為、尾行、脅迫、強制、武器の所持など）。
3. 物理的または仮想空間への同意のない、歓迎されない、不適切な注意、接触、または侵入。
4. 破壊的な行為。
5. 抑圧的な権力関係を強化する言動、または特定のグループのメンバーシップに基づいて人々を排除する効果のある言動。
6. 他の参加者、インターン、インストラクター、ボランティア、またはスタッフに関する個人情報を、無許可、望ましくない、同意のない出版/ 投稿、回覧、または引き出すこと。
7. やめるよう求められた後も行為を続ける。そして、
8. 容認できない行為に影響を与える。

参加者の安全と快適のために必要と思われる追加のガイドラインがいつでも施行される場合があります

結果と報告:
結果 –
容認できない行動に関与したと見なされた参加者は、適切な措置の対象となり社会福祉プログラムから直ちに除去される可能性があります。そのような行為の遵守は、直ちにスタッフに報告する必要があります。
報告 –
上記のいずれかの行為を受けた方は、事故報告書に記入し、適切なプログラムコーディネータ ー、スーパーバイザー、またはエグゼクティブマネージャーに提出することにより、その行為を報告することができます。

また、潜在的に危険な状況、苦しんでいる人、またはこれらのガイドラインの違反を目撃した場合は、その状況があなた自身に起こっていなくても、社会福祉部に報告して下さい。

さらに、報告手続きを悪用した参加者は、これらの指針に違反していると見なされ、同じ結果の対象となります。虚偽報告、特に報復や排除を目的としたものは受け入れられず容認されません。

最後に、社会福祉部のスタッフ、インターン、ボランティアは、不当な扱いや放棄を含む、あらゆる形態の虐待の報告を法的に義務付けられています。18 歳未満の子供、60 歳以上の高齢者、18 歳から59 歳までの扶養家族を含む危険にさらされている子供と成人の虐待は、児童・成人保護サービスに報告する義務があります。

苦情報告は213-473-3035にお電話いただくか、**https://bit.ly/LTSCJG** にご記入いただき、提出してください。